

配食サービスの有無別独居高齢者の栄養状態

サケモト 酒元	セイジ 誠治*	フルイエ 古家	タカシ 隆 ^{2*}	ホリノウチキョウコ 堀之内恭子*
コウロギ 興梠	イクコ 郁子*	スズキ 鈴木	セン 泉 ^{3*}	クノナガタ 久野(永田)
				カズエ 一恵 ^{4*}

目的 独居高齢者に配食サービスを提供することが、高齢者の栄養状態の改善につながるかどうか検討する。

方法 対象は、宮崎県T町に在住の生活自立独居高齢者74人（女性，70～90歳，平均80.2歳）である。3か月以上にわたって配食サービスを昼又は夕食として週に3回以上受けている独居者と配食サービスを受けていない独居者，同居者がいる在宅高齢者について身体計測，生化学検査，食事調査を実施し，配食サービスの有無によるこれらの違いを比較した。

結果 今回の対象者は身体計測値からは栄養状態が良好であると思われた。しかし，独居高齢者のうち，配食サービスを受けていない者の血清総タンパク，血清アルブミンが低く，栄養改善が必要であると思われた。独居者であっても，配食サービスを受けている者のこれらの値は，同居者がいる者とはほぼ同じであった。食事調査では，独居者は菓子類の摂取が多く，配食サービスを受けているものはさらに油料理の摂取が多いことがわかった。

結論 独居高齢者は，提供された食事を食することにより，脂質の摂取量が増加し，血清生化学指標の改善につながったのではないかと考えた。配食サービスは，独居高齢者の栄養改善に役立つ可能性がある。

Key words : 独居高齢者，在宅高齢者，配食サービス，栄養評価，身体計測，食事調査

* 宮崎県都城保健所

^{2*} 宮崎県高千穂保健所

^{3*} 宮崎県衛生環境研究所

^{4*} 西九州大学健康栄養学科

連絡先：〒885-0012 宮崎県都城市上川東 3-14-3

都城保健所 酒元誠治